

北九州

市議会だより

昭和60年1月1日 No. 88

謹賀新年



十二月定例会

昭和五十九年十二月北九州市議
会定例会を、十二月三日から十二月
七日までの五日間の会期で開きまし
た。今議会に市長から提出された議
案は、専決処分の報告議案一件、条
例議案四件、五十九年度補正予算議
案十五件、その他の議案六件の合計
二十六件でした。

これらの議案については、本会議
において、質疑を行った後、それぞ
れ所管の常任委員会に付託し、慎重
に審査しました。

その結果、これらの議案すべてを、
十二月七日の本会議で可決しました。
一方、議員から提出された議案は、
十一件で、そのうち「物品税の課税
対象拡大に反対する意見書」など、
四件を可決し、六件を否決しました。

なお、「国旗掲揚と国歌斉唱に関
する決議」と請願、陳情については、
時間切れで閉会となったため、審議
未了となりました。

補正予算など26件を可決

決まった主なもの

市長提出

◎五十九年度各会計補正予算

補正予算の概要

区分	補正前の額	補正額(増額)	補正後の額
一般会計	3,466億5,331万円	6億4,968万円	3,473億 299万円
普通特別会計	3,083億4,882万円	1億5,224万円	3,085億 106万円
企業会計	542億8,721万円	6億 612万円	548億9,333万円
合計	7,092億8,934万円	14億 804万円	7,106億9,738万円

- ◎北九州市市税条例の一部改正
軽自動車税の賦課徴収事務を効率的に行うため、軽自動車税の納期「四月十七日から同月三十日まで」を「五月一日から同月三十一日まで」に変更するもの
- ◎北九州市産業観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
商工貿易会館の新設と貿易館の会議室使用時間区分の変更を行うため、関係規定を整備するもの
- ◎北九州市職員の給与に関する条例の一部改正
給料表、扶養手当等の改定を行うもの
- ◎町及び字の区域及び名称の変更
住居表示に関する法律に基づき、合理的な住居表示制度の実現を図るため、町及び字の区域及び名称を変更するもの(小倉北区、小倉南区、若松区及び八幡西区の区域)
- ◎北九州市公共下水道五反田川雨水幹線新設工事委託協定の一部変更
委託金額を変更するもの
・既決金額七億四、八三〇万円
・変更金額六億二、五三〇万円
- ◎市道路線の認定、変更及び廃止
市道路線の整備を図るため、路線の認定、変更及び廃止をするもの
・路線認定 西海岸二号線外二
八一件
・路線変更 葛葉九号線外二〇
件
・路線廃止 田野浦六四号線外
七件
- ◎損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告
昭和五十八年七月十六日市立泉台小学校において発生した事故について、損害賠償の額を決定し、和解するもの
- ◎公有水面埋立てによる土地確認等
公有水面埋立工事により造成された土地が、市の区域内に新たに生じた土地であることを確認し、当該土地を町の区域に編入するもの
・門司区大字田野浦地先三、五
二七・二五平方メートルを、
門司区太刀浦海岸の町区域に編入
・小倉北区許斐町地先三万九、
七三八・七四平方メートルを、
小倉北区許斐町の町区域に編入
- ◎土地の取得
小倉南区葉山町三丁目及び守恒三丁目所在する土地を仮称第三志徳中学校用地として買い入れるもの
面積 二万七、六〇〇・二四
平方メートル
予定金額 六億二、一六〇万円

議員提出

- ◎物品税の課税対象拡大に反対する意見書
- ◎障害者の雇用促進に関する意見書
- ◎私立高校への助成に関する意見書
- ◎第四十五回国民体育大会開催に関する決議



質疑 応答



本会議で十人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政全般についての質問を行いました。
その中から主なものをとり上げました。

商工貿易会館の 運営は

議員 一月上旬に開館予定の商工貿易会館は、不況と沈滞の北九州経済に活力を与え、展望を切り開いていくうえで、大きな期待が寄せられています。

会館の運営について、どのように考えていますか。

市長 商工貿易会館は、市内の中小企業、貿易関係団体、県や市などの機関が入居し、一月七日に開館する予定です。

この会館は、団体相互の情報交換、連絡調整を密にすることによって、業界の有機的な力を発揮することを目的にしており、さらに、中小企業又は貿易振興の拠点として、活発に運用していただきたいと考えています。

施設の主な特色としては、一階には二百平方メートル程度のショールームを設けて、高度情報化時代に対応したOA等の機器の常設展示とあわせてコンピュータ等の導入相談・指導、各種講座の開設などを行います。
また、七階にも展示ホールを設けて、あまり大きなスペースを必

要としない、いわゆる軽薄短小の商品を展示する場所として、西日本総合展示場とあわせて有機的に運営していきたいと考えています。
その他、国際的な催し物あるいは、貿易実務講座、研修、会議等が行えるというのも、この施設の大きな特色です。

集荷対策を

―北九州港―

議員 博多港の「北米向け輸出品の定期航路積み出し港」指定により、博多港の近くにある企業は博多港から積み出しをした場合、陸上輸送費が削減できます。
これに伴い、これまで北九州港に集まっていた貨物が博多港に流れることが予想されますが、どのような対策を考えていますか。

また、中国は、日中間にコンテナ船を配船していますが、これを誘致する考えはありませんか。

市長 港の設備を比較した場合、北九州港の方が充実しています。さらに、太刀浦の第二期工事が完了すると、施設能力は圧倒的に北九州港が有利であるといえます。しかし、博多港の近くにある企業にとっては陸上輸送費が軽減できるため、荷主や船会社などのように判断するかが問題となつてきます。

今後とも、一層、サービスの向上に努め、集荷活動を強化していきたいと考えています。

また、中国のコンテナ船の寄港については、中国遠洋運輸総公司に要請を行っています。
中国側もこの点について十分考慮する意向なので、運動を積み重ね

ねて、中国コンテナ船の北九州港寄港を実現したいと考えています。

北九州大学の 総合大学化は

議員 総合大学は、自宅通学を願う親の立場や地域の経済、文化への影響、企業誘致の条件整備の面からも、市内に必要であると思

います。

北九州大学を段階的に、総合大学化する考えはありませんか。

市長 長期構想の中で、将来を展望して、北九州大学の学部、学科の増設とともに、総合大学の構想を掲げています。

しかしながら、国の大学政策の変更により、総合大学を指定都市に設置することは、非常に困難となつています。

したがって、既存の大学において、市内にはない学部、学科の増設や大学院の充実を考え、有機的に運営していくべきと思つています。
現在、北九州大学においては、漸次、大学院を増強しており、さらに、九州工業大学大学院の博士課程誘致についても、大学側と協力して文部省に働きかけをしています。

水質の汚濁防止は

―遠賀川―

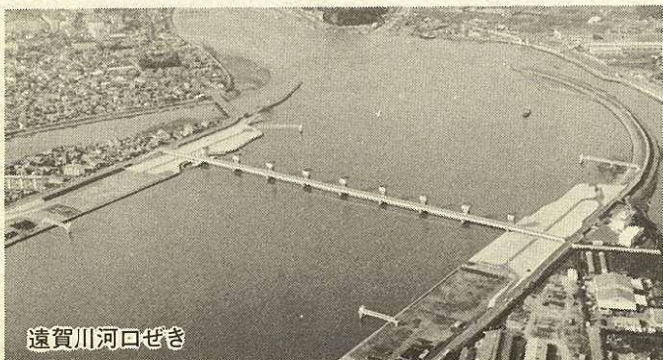
議員 建設省がまとめた一級河川の水質汚濁状況によると、遠賀川は、九州管内では、ワースト3に入っています。

遠賀川の汚濁防止については、どのような対策を講じていますか。また、飲料水の検査はどのような

に行われているのですか。
水道局長 遠賀川の水質汚濁防止については、本市独自で解決することは困難であるため、流域市町村で構成する各種協議会に参加して、河川浄化に対する啓発等を行うとともに、機会あるごとに、国、県等に対して、水質汚濁防止対策の早急な実施を強く要望しています。

また、飲料水の検査は各浄水場で、それぞれの水源の水質に応じた適正な処理を行い、水質基準に適合した水を供給しています。

さらに、毎月、定期的に、水源から各家庭のじゃ口に至るまで、水道法に基づく水質基準や微量化学物質等の暫定基準及び環境基準の項目を対象として検査を行っています。



遠賀川河口せき



四十人学級の 早期実現を

議員 本市の児童数は、今後、大幅に減少していくことが予想されます。

四十人学級の実現は、この児童数の自然減や教職員の現定数から考えて、来年度が好機であると思われま。

国に対して、四十人学級の実現を積極的に要求すべきではありませんか。

また、四十人学級が実施された時に、現在の教室数で対応できるのですか。

教育長 四十人学級の早期実現については、本市としてもかねてから国に対して要望してきました。

現在、文部省は、来年度から児童数減少市町村の小学校で四十人学級を全面実施する方針で予算要

求を行っています。

もし、これが実施されることになれば、本市も全小学校で四十人学級が実現することになります。

また、その際、十五校で二十八教室不足すると予想されますので、とりあえず特別教室の転用、改造等により対処する必要があると思っています。

いづれにしても、今後の国の予算編成に十分注目していきたいと考えています。

運動公園の整備を

議員 小倉南区の公園は、年々整備されていますが、運動のできる広い公園は少なく、健康都市をめざす本市にふさわしくないと思われますが、今後、小倉南区の運動公園の整備はどのように進めていくのですか。

また、運動公園の運営は、熱心に使用するスポーツ団体等にまかせるべきだと思えますが、どのように考えていますか。

市長 公園の整備は、グリーン北九州プランに基づいて計画的に進められており、市民一人当たりの公園面積は、指定都市の中で第二位となっています。

小倉南区の運動公園は、現在、整備が進められており、五十九年度中には、新道寺第二公園の開設が予定されています。

しかしながら、区別でみると、小倉南区の公園整備は大変遅れています。

今後とも、運動公園をはじめとして、集中的に公園づくりを進め

ていきたいと考えています。

建設局長 公園の運営については、自治会などから申請があれば、地元で運営をお願いし、清掃などを行ってもらっています。

熱心に使用するスポーツ団体に運営をまかせることも考えられますが、地域に密着している地元の団体で運営されるのが、好ましいと考えています。

山田弾薬庫跡地の 利用計画は

議員 山田弾薬庫跡地については、防衛庁が弾薬庫としての使用を正式に断念したことにより、北九州市、防衛庁、国の保留地の三分割方式による利用計画が急速に進展はじめています。

市の跡地利用計画は、どのようなものになっていますか。

市長 山田弾薬庫跡地については防衛施設局長は、十月十二日の記者会見で、火薬、弾薬、燃料等の危険物は持ち込まない、実弾を伴う訓練はしない、弾薬庫として使用しないということを明確に公表しています。

これに伴い、市では山田弾薬庫跡地利用計画委員会を五年ぶりに再開し、跡地利用についての案を作っていただいています。

基本的には、自然休養を目的とした都市施設として活用し、豊かな自然を生かした大規模な広域公園として整備する考えです。

なお、建物は、自然史博物館のみとするを原則として、できるだけ自然を残していきたいと考えています。



山田弾薬庫跡地

また、防衛庁においても、基地の機能上、道路を造るなどの必要最少限度のことはしなければならぬが、山田の緑を守る気持は同じであると発言しています。

国庫補助金 一割カットの対策は

議員 国の高率補助金見直しは生活保護費など四十一件にのぼり、その大部分が一割カットとなっています。

この措置が実施された場合、本市では、五十九年度当初予算ベースで、四十八億七千万円を超える補助金が減額され、大変厳しいものとなります。

このため、住民サービスが低下するのではないかと憂慮されますが、どのような対策を考えていま

すか。

市長 国の高率補助金一割カットが強行されると、単年度だけではなく永続するので、自治体に与える影響は非常に深刻なものがあります。

この問題は、自治省も反対しており、さらに、全国市長会などの地方六団体や指定都市及び県下の市長会などが歩調を合わせて、反対集会を開くなどの運動を行っています。

本市としては、これに参加すると同時に、県、福岡市とともに直接、大蔵省等関係機関に実情を認識していただくよう働きかけています。

この問題は、まだ決着したわけではありませんので、その対応策を具体的に考える段階ではないと思います。

国家予算の編成時期に向けて、なお強力で運動を続けていく考えです。

北九州市民憲章

緑を豊かに
清潔で美しいまちにします
安全なまちにします
人を大切に
ふれあいの輪をひろげます
元気で働き
明るい家庭をつくります
学ぶ楽しさを深め
文化のかおるまちにします